

事務事業名		高齢者軽度生活援助事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり				担当組織	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課		
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり				担当係	高齢福祉係	担当課長名	片柳利幸			
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現				新規事業・継続事業		継続事業				
	基本事業	2 自立支援サービスの推進				実施計画事業・一般事業		実施計画事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	4832	一般	3	1	3	高齢者軽度生活援助事業						
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成14年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市高齢者軽度生活援助事業実施規則		実施方法		一部委託		
	事業区分		実施方法		事業分類		現金・現物給付事業		リーディングプロジェクト		該当なし	
	市長マニフェスト		2-9									

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
要支援1以上の介護認定を受けたひとり暮らし又は高齢者世帯に対し、介護保険制度の適用外の庭の除草等の軽度なサービスを行い、在宅での生活を援助する。 シルバー人材センターに委託して実施している。 シルバー人材センターの利用料金の一部を援助している。			年間20時間まで利用できる助成券を発行し、要支援1以上の一人暮らし高齢者世帯及び高齢者世帯の日常生活の支援を行うことにより、在宅での生活を支援し、自立を促した。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			利用時間	時間	4,696	4,530	4,600	4,650	4,700	
			利用人数	人	342	307	420	430	440	
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
要支援1以上の介護認定を受けたひとり暮らし又は高齢者世帯			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			65歳以上高齢者	人	31,140	32,923	34,706	36,489	38,272	
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
在宅で、軽度生活援助を受け、自立した社会生活を営める状態を維持する。			要介護認定者数	人	5,805	5,978	6,281	6,519	6,825	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
自立した在宅生活をしてもらう。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			在宅福祉サービス利用者数	人	1,526	6,934	7,000	7,200	7,400	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	財源内訳	千円										
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	4,899		3,425		3,762		3,650		3,137	
	事業費計(A)	千円	4,899		3,425		3,762		3,650		3,137	
	事業費の内訳	千円	印刷製本費	49	印刷製本費	40	印刷製本費	51	印刷製本費	50	印刷製本費	50
			事業委託料	951	事業委託料	950	事業委託料	951	事業委託料	950	事業委託料	950
			扶助費	3,899	扶助費	2,435	扶助費	2,760	扶助費	2,650	扶助費	2,137
人件費	人	1		1		1		1		1		
のべ業務時間	時間	50		50		50		50		50		
人件費計(B)	千円	195		197		197		197		197		
トータルコスト(A)+(B)	千円	5,094		3,622		3,959		3,847		3,334		

事務事業名	高齢者軽度生活援助事業	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	担当係	高齢福祉係
-------	-------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	旧田沼町、旧葛生町で実施していた事業を新市が引き継いだ。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	高齢者人口、高齢化率とも年々伸びており、それに伴い要介護認定者も増加している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成22年度から年間利用時間を30時間から20時間に減らしたため、元に戻すよう要望がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている		理由・改善案	ヘルパーができない除草などの軽度なサービスを提供することで、在宅での生活を維持することにより高齢者の自立を促しているため、政策体系と結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない		理由・改善案	独居や高齢者世帯が増加しており、要介護認定者も増加しているため、軽度生活援助サービス提供は妥当である。シルバー人材センターに事業を委託している。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である		理由・改善案	身体的に作業が困難な高齢者の日常生活を支援する事業であり、対象・意図ともに妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない		理由・改善案	利用者は年々増加しており、十分な成果が出ている。事業の見直しについては、平成22年度から1世帯20時間までという利用の制限を設けることで、より多くの利用者に事業を使ってもらえるよう改善が図られたので、当面は成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない		理由・改善案	類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入				
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない		理由・改善案	利用時間を1世帯20時間までとしたが、利用者は増加しているため全体的な事業費は増加傾向にあり、作業料金も決まっているため、事業費は削減できない。人件費についても必要最小限の人数で対応しているため、削減できない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である		理由・改善案	介護認定を受けている高齢者世帯がサービスを利用する際に、1時間につき350円の自己負担をしているため、受益者負担は適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)				
今後の高齢者や要介護支援者の増加に伴い、ますます必要とされる事業であり、廃止・休止はできない。					

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			